

資料 提 供

令和3年2月15日
石川県立看護大学

新型コロナウイルス感染予防リーフレットの制作について

1 趣 旨

本学地域看護学の教員が、県民の皆様を対象とした普及啓発活動として、リーフレット「続けていますか？お家の中の感染予防策」（監修：金沢医科大学臨床感染症学講座 飯沼由嗣 教授）を制作しました。

新型コロナウイルスを含む感染症の拡大を防ぐには、家庭内にウイルスを持ち込まないこと、家庭内感染のリスクを避けることが大切です。今一度、お家の中の感染予防策について確認しましょう。

2 概 要

(1) 内 容

①感染経路について

②感染予防策について [①手指衛生 ②換気 ③咳エチケット]

(2) 配布等

①製作部数 25,000部

②配布先等 県市町健康推進行政関係機関等（県市町の担当課、保健所など）
※関係機関窓口での県民への配布等による活用を想定

本学ホームページにて公開

<https://www.ishikawa-nu.ac.jp/2021/01/12436/>

3 関連する制作物

(1) 新型コロナウイルス感染予防啓発動画「今すぐできる！お家の中の感染予防策」
<https://www.ishikawa-nu.ac.jp/2020/10/11719/>

(2) 新型コロナウイルス感染予防動画（高齢者施設・障がい者施設職員向け）
<https://www.ishikawa-nu.ac.jp/2020/09/11558/>

(3) 「高齢者施設・障がい者施設のための新型コロナウイルス感染対策マニュアル」
<https://www.ishikawa-nu.ac.jp/carecenter/2021/01/2886/>

石川県立看護大学総務課 宮川
TEL 076-281-8300 (代)



続けていますか？ お家の中の感染予防策



新型コロナウイルスを含む感染症の拡大を防ぐには、家庭内にウイルスを持ち込まないこと、また家庭内感染のリスクを避けることが大切です。そこで今一度、お家の中の感染予防策について確認してみましょう。

「感染経路」はどのようなものがありますか？

新型コロナウイルスの主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。感染を避け、大切な家族を守るために、この2つの経路を絶つことが重要です。

飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳などから出るしぶき）を口や鼻から吸い込む。換気の悪い部屋では、飛沫が空中に長くとどまり感染しやすい。



接触感染

飛沫で汚れた箇所を触り、手についたウイルスが、口・鼻の粘膜から入る。



「感染予防策」にはどんな方法がありますか？

①手指衛生をしましょう。

手指衛生は、アルコール消毒、手洗いの2つの方法があります。

接触感染防止策

アルコール消毒

玄関にあらかじめ手指消毒薬を置いておき、帰宅後、玄関で消毒することをおすすめします。また、リビングやダイニングなど、人が集まるところに消毒薬を置いておくのも有効です。



玄関

リビング・ダイニング

手洗い

手洗いのタイミングは、①帰宅後、②調理・食事の前、③トイレの後、④咳・くしゃみをした後に行ってください。



流水で手の汚れを洗い流す



石けんやハンドソープをよく泡立てた後、手のひら



手の甲



指先・爪の間

POINT
水分が残っていると細菌やウイルスが付きやすくなる



指の間



親指の付け根



手首の順に洗います



流水で洗い流した後、ペーパータオルで水分を拭き取る

※裏面もご覧ください。



石川県立看護大学
ISHIKAWA PREFECTURAL NURSING UNIVERSITY

②換気 に気を付けましょう。



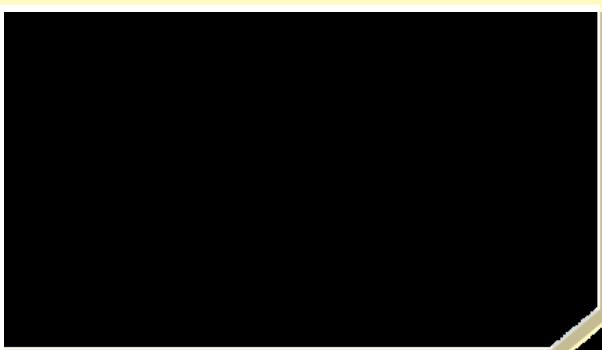
人が集まる部屋では、換気をして、部屋の中の空気を外に出し、外気を部屋の中に入れることが重要です。
※誰もいない部屋、一人の時、就寝時などの場合、換気は不要です。

窓がある部屋で▶
は、2方向の窓
を1回数分間程
度、全開にしま
しょう。



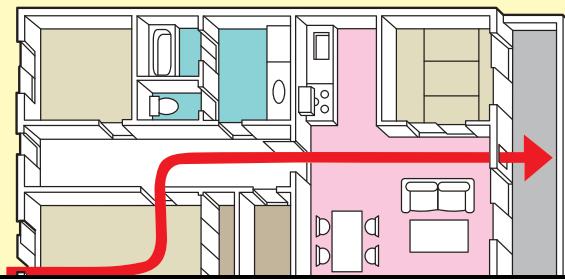
◀ 窓が1つしかない場合、
サークュレーター や扇風
機を風量強にして空けた
窓の方向に向けましょう。

または、入り口のドアを開け窓とドアの間に空気の流れをつくりましょう。



冬におすすめ『2段階換気』

換気の際に、直接冷たい空気が流れ込むと、より寒さを感じてしまいます。冷たい空気を入れないための方法として、「2段階換気」がおすすめです。下の図のように、人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れましょう。



(

呼
家
行

脇
す
る

あなたの行動ひとつで、あなた自身、そしてあなたの大
切な家族の生命を守ることにつながります。①手指衛生、
②換気、③咳エチケットの予防策を改めて実践しま
しょう。

監修：飯沼 由嗣（金沢医科大学 臨床感染症学）
企画：石川県立看護大学地域看護学
(2021年1月制作)

動画「お家の中の感染予防策」

